

御挨拶

日頃より、留学生支援にご協力をいただき、ありがとうございます。ここに留学生ニュース第11号をお送り致します。この4月より、信州大学でも、学生や教職員のグローバル化推進のために「グローバル教育推進センター」が立ち上げられ、以降の記事にありますように、全学的に、活発に、活動を展開しております。本学部でも、海外からの訪問者や招聘教授の来学数が以前と比べて増えてきております。昨年から行われている日本人学生が異文化や英語などに気軽に触れられる機会をつくる「英語サロン」も、留学生の協力の下で、毎週、盛況に行われています。最近の本学における国際交流関連の記事を以下に紹介します。

第1回海外留学説明会を開催

2015年4月、国際交流センター主催による留学説明会が行われ約20名が参加しました。国際交流センター光山博敏先生より留学を検討する学生へのメッセージとアドバイス、下坂繊維学部国際交流推進室長からさまざまな留学スタイル及び留学に向けてのプランニングと準備(奨学金、就職活動など)についてお話いただきました。また、昨年度、留学や海外ボランティアに参加した繊維学部生の体験談が披露され、留学を身近に感じることができる大変有意義な説明会となりました。

繊維学部留学生ガイダンスの開催

2015年5月、上田キャンパスでは、今年度新たに迎えた留学生のガイダンスを実施しました。東京入局管理局長野出張所、上田市多文化共生推進協会(AMU)、上田警察署から来賓をお迎えし、より良い留学生活を送るための情報とアドバイスをお話いただきました。その後、マルベリーホールにて歓迎会を行い、留学生支援を担当する教員からの話や留学生の日本語での自己紹介を交え、学年、専攻、国籍の異なる留学生同士が交流するよい機会となりました。


留学生歓迎交流会のようす

新しい交流協定の締結

2014年12月にベルギーのゲント大学工学部とパキスタンのメヘラン工科大学繊維学部、2015年1月に韓国の慶北大学校農業生命科学大学、2月に台湾の中国文化大学工学部と Bangladesh のサウスイースト大学理工学部との間で学部間交流協定を締結いたしました。繊維学部は、現在61の大学・研究機関と交流協定を締結しており、今後もより一層幅広い交流が実現できるよう国際交流を推進していきます。

Anouar Jamali 教授による特別講演

2015年1月、大学間連携「繊維・ファイバー工学コース」により招聘されたモロッコ繊維衣料工業高等学院(ESITH)のM. Anouar Jamali教授による特別講演会「Morocco Country Profile & an Overview of ESITH, Education & Research」が行われました。


特別講演会のようす

スアンクラブ・ランシット校一行が表敬訪問

2015年2月、信州大学国際交流センターの取組みのひとつとして、海外の高校と協定を締結し留学生を受け入れる特別選抜留学生プログラムを開始することとなりました。初回となる平成27年度受入れ対象校のタイ国スアンクラブ・ランシット校(Suankularb Wittayalai Rangsit School: SKR)の校長をはじめとする訪問団の方々に、繊維学部をを表敬訪問いただき、Fii棟、TEXPO、講堂を見学いただきました。


濱田学部長と Suparwadee Wongsakul 校長を囲んで記念撮影

チェコ共和国大使館一行が表敬訪問

2015年4月、チェコ共和国大使館から新任のTomas Dub駐日特命全権大使、在日チェコ商工会議所の渡辺ロマン会頭、野本一夫副会頭及び中園ヴェンゴフスカ理沙氏の表敬訪問を受けました。学部間交流協定校であるリベレッツ工科大学繊維学部との今後の交流計画などについて意見交換を行い、その後、Fiil棟を見学いただきました。



講堂前にて記念撮影

「トビタテ！留学 JAPAN」の採択

2014年からスタートした、官民協働で取り組む新たな海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN」の第2期派遣留学生として、大学院理工学系研究科繊維・感性工学専攻修士課程1年の小林祐輝さんが選ばれました。信大からは、第1期派遣留学生として選ばれた農学部倉田紗耶加さんに続いて2人目となります。小林さんは、平成27年5月14日から10ヶ月間、学部間交流協定校である香港理工大学に留学し、快適寝具の設計・開発のための研究を行います。「香港理工大学では研究活動だけではなく、自分が生まれ育った長野県や東御市、上田市の文化・歴史などについても伝える活動をしたい」と熱く語ってれました。

さらに、これから留学を目指す繊維学部の学生さんに「留学をしたい、海外に憧れている、という気持ちが少しでもあるのなら、是非、この『トビタテ！留学 JAPAN』の奨学金に挑戦してください。自分の将来や夢に対する意識が大きく変わる事もあり、自分にとってとてもいい経験になると思います」というメッセージを残し、旅立ちました。



修士課程の
小林祐輝さん

Ludovic Koehl 教授による特別講演

2015年4月、博士課程教育リーディングプログラム主催により、フランス国立繊維工芸工業高等学院(ENSAIT)から Ludovic Koehl 教授をお招きし、特別講演会「Curriculum Studies and Research Themes in ENSAIT, France」が行われました。



特別講演会のようす

繊維学部留学生の動向

本年3月24日に学位授与式が開催され、2名の博士課程学生、6名の修士課程学生、3名の学部学生、11名の研究生を送り出しました。そのうち1名の修士課程学生、3名の学部学生、そして11名の研究生が進学しました。4月には新たに1名の博士課程学生、3名の修士課程学生、3名の学部学生、4名の特別聴講学生が入学し、これで6月現在の上田キャンパスで学ぶ留学生の総数は52名となりました。

繊維学部への留学状況(課程と出身)

博士課程	13	中国	35
修士課程	23	韓国	5
学部	11	マレーシア	4
研究生等	5	フランス	3
計	52	インドネシア	1
		ドイツ	1
		ベトナム	1
		モンゴル	1
		モロッコ	1
			52

国際交流推進室 室員紹介

下坂 誠(室長、生物機能科学課程)
平林公男(副室長、生物資源・環境科学課程)
金 翼水(副室長、機能機械学課程)
鮑 力民(機能機械学課程)
ハニウッドマイケル(感性工学課程)
平田雄一(応用化学課程)
金井博幸(先進繊維工学課程)
福長 博(材料化学工学課程)
パタキー トッド(バイオエンジニアリング課程)
キャシー マクナミー(応用化学課程)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、国際交流推進室メールアドレス(fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

◆ 国際交流推進室ホームページ ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>